

(SSH 校) × (DX 校) によるシン探究活動研究会 in 姫路西および令和 7 年度 SSH 成果発表会 (実施要項)

- 1 目的 DX 事業により教育環境が整備されつつある中、DX を活用した文理横断的・探究的な学びの充実が課題となっている。これに対し、SSH 校と DX 校の教員および生徒の交流を通じて、探究活動の高度化、教員の指導力向上、生徒の表現力・論理的思考力の育成を目指す。

- 2 日時 令和 8 年 1 月 31 日 (土) 9 : 15 ~ 15 : 00 (受付 8 : 45)

- 3 場所 兵庫県立姫路西高等学校
(〒670-0877 兵庫県姫路市北八代 2 丁目 1-33)

4 内 容

時 間	内 容
8:45	受付
9:15	基調講演 「科学的に考える力～探究から AI 時代の未来を拓く」 講師 渡辺 美智子 教授 (立正大学データサイエンス学部)
10:15	課題研究発表会 (大講義室) 本校代表生徒によるスライド発表 (教室 等) 本校 2 年生普通科生徒および招待校生徒によるポスター発表 本校 2 年生国際理学科生徒によるスライド発表
12:30	課題研究発表会 終了
	(昼食)
13:15	教員研修会 第 1 部「実践発表会」 兵庫県立姫路西高等学校 教諭 福島 香 福岡県立城南高等学校 (SSH 指定校) 教諭 藤上 侑亮 兵庫県立明石高等学校 (DX 指定校) 教諭 多田 裕助
14:10	教員研修会 第 2 部「意見交換会」 助言者 渡辺 美智子 教授 (立正大学データサイエンス学部)
15:00	教員研修会 終了

5 基調講演および教員研修会について

(1) 基調講演・要旨

AI が急速に普及するグローバル社会において、求められるのは「すでにある答えを知る力」ではなく、「誰もまだ答えを持たない問いを立て、確かめる力」である。この講演では、科学的問題解決の核心である仮説の検証可能性・因果関係・変数の操作や制御を身近な事例から紹介する。スポーツのデータ分析 (打球のバレル分析) や企業の実験文化 (Amazon の A/B テスト) を取り上げ、AI が提供できる知識と人間が担うべき探究の違いを考える。探究を通じて「科学的に考える力」を養うことは、AI 時代を生き抜く 21 世紀型スキルの中核を成し、科学的問題解決の具体的な方法と意義を共に考えていく。

(2) 教員研修会・第 2 部意見交換会について

冒頭に、プログラミングなどの計算的思考が取り入れられたアメリカの探究プロセスについて助言者より講話をいただき、その上で、「問いを立てる」「データを分析する」などの探究プロセスごとにグループを分け、自校の課題や展望などについて意見交換を行い、探究活動の充実や指導力向上を目指す。また、SSH 校と DX 校、中等教育学校との今後の連携について考える。

6 申込方法について

ご出席いただく方は、以下のフォームより事前に申込をお願いします。
また、課題研究発表会への参加はポスター発表での参加となります。ポスターおよび研究要旨等については、申込後に本校より連絡いたします。

(教員用申込フォーム) <https://forms.office.com/r/vmvVqwqUwk>

(生徒用申込フォーム) <https://forms.office.com/r/ZAQaRRPYSh>

※ 申込期間 : 12 月 1 日 (月) まで



7 その他

- (1) ご来場の際は、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。
(2) 当日の様子は、写真等で記録させていただき、本校のホームページ等で公開することがあります。